

ぼちぼち畑、今年は1トン余りのじゃが芋を収穫!

7月～8月 一年があっという間に過ぎてゆく。今年もすでに都祁は寒い冬を迎えつつある。2013年後半の活動のなかで、7月から8月の暑い時期じゃがいも掘りに精をだした。今年は黒マルチをかぶせて雑草対策をやったせいか前の年よりずっと発育が良くて収量も多かった。素人が始めた農業だが年と共に学習成果が表れているようだ。選別して1トン余のじゃが芋を販売することが出来た。大口は特別養護老人ホームや保育所などの施設が買って下さった。



品種は「キタアカリ」と「男爵」だったがいずれも味が良いと好評、我々にも自信がついてきた。とはいえ、会員皆さんの労力奉仕のおかげ、一次産品をそのまま売っただけでは農業は厳しいものだということを知られる。加工して付加価値を付ける智慧が必要だ。じゃが芋を加工し6次産業の成功例に出来ないか模索している。

今年最大のイベント「第2回きみかげの森フェスタ」を開催!

8月3日(土) 好天に恵まれ「第二回きみかげの森フェスタ」を開催、115名の参加をいただいた。ウッドデッキステージ上で、今年はおカリナ演奏、荒井敦子さん率いる音楽の森ファミリーのコーラス、そして同志社大学グリークラブOBカルテットの歌など多彩な演奏でとても楽しかった。同志社OBの方々のレパートリーがとても幅広く年輩の皆さんにもうけたようだ。会場では都祁産の品々に加え、アイスクリームも買ってもらって好評であった。



杉・檜を間伐して森に足場作り!



6月・9月・12月 3回にわたって日本タバコ産業の助成をいただいている「障がい者の自立をうながすための事業」すなわち、杉・檜の間伐した樹間にサカキ・ヒサカキ・シキミを植えそれを販売して障がい者の就労につなげてゆく仕事を始めている。



3年計画だが今年は幼木を植えるための地ごしらえの作業である。間伐した丸太を3メートルくらいの長さに切り皮を剥いて足場つくりをしてゆく。斜面を歩いたり、木を運ぶから結構重労働である。二年目以降が楽しみだ。



秋の収穫祭!

11月2日(土) 50名が参加して今年は森のなかで「収穫祭」を開催した。月ヶ瀬からイノシシの肉をいただいて牛肉と共に炭火を使ってバーベキュー、そして温かい「おでん」あり、男性は重い道具などを運び、女性会員は腕を振るい収穫したジャガイモを使ったお料理を並べてくれた。お腹がいっぱいになると、石山理事が奈良検定にヒントを得た二択のクイズを出してくださり、これが実に楽しかった。上位の正解者には都祁産のお米や野菜、卵など賞品としてお持ち帰りいただいた。森のなかは空気も美味しい、お天気も良かったから皆さん喜んでくださった。



ぼちぼち畑に にんにくを!

10月 ジャガイモの収穫した畑に10月、「にんにく」を植えた。初めての試みだがにんにくは高価な作物だし、都祁の風土に合うかどうか不安だが楽しみでもある。



保健センターで木工教室!

11月17日(日) 奈良市ボランティアセンター主催のイベントがあり、いろんな団体に混じて「きみかげの森」も参加、木工教室を開いた。いろんな作品に挑戦してもらいたいと思って材料をたくさん用意していったが、一般客が少なかった。広報の仕方に工夫の必要を感じる。でも参加してくれた人たちはとても喜んでくれた。

